

【K 雲仙市-南串山エリア Unzen City-Minamikushiyama Area】



諏訪の池のほとりから

雲仙市-南串山エリアでは、“**南西面の雲仙岳**”が眺望できます。小中学校の校歌には**雲仙岳**が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。**雲仙岳**の山岳信仰が盛んであった往時をしのばせるものとして、その中核であった温泉山満明寺(701年開山)の直系の系譜を受け継ぐ温泉山一乗院(その法類寺院が雲仙地獄にある雲仙山満明寺)が現存しています(↓)。

山並みとしては、九千部岳～国見岳・妙見岳(・平成新山)～高岩山という並びで、相対的に存在感があるのは九千部岳や高岩山です。九千部岳や高岩山には、**雲仙岳**の化身とされる巨人“みそ五郎”にまつわる伝説が伝えられていますが、当エリア内では“武莊五郎”という悪さをする怪力の持ち主の伝説が残っています。語源的には、“未曾有(みぞう)／無双(むそう)＋御霊(ごりょう)”に由来し、かつてないほど／並ぶ者がいないほどの力を持った**靈魂(＝雲仙岳)**を意味すると考えられています。当エリアにある半島最大のため池・諏訪の池については、巨人・みそ五郎の足跡だという話が半島内の民話に伝わっています。諏訪の池や橋湾越しに**雲仙岳**を眺めることができる当エリアの風景は、雲仙天草国立公園ならではの“**水陸の大展望**”と言えるでしょう(↑↓)。

江戸時代初期の“島原・天草一揆”の際には、当時の串山村の村民ほぼ全員が一揆に参加したとされています。一揆で村民が全滅してしまった後には、幕府の命令により、瀬戸内海の小豆島などから多くの入植があったとされています。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、南串山エリアを旅してみませんか？

●南串山エリアの観光情報はこちら↓

雲仙市観光物産課(ガイドブック) http://www.city.unzen.nagasaki.jp/info/prev.asp?fol_id=10176



橋湾に突出する国東半島から(南西から)



1300年の歴史を有する一乗院



棚畑展望所から(じゃがいも畑越しに)